

インドネシア1号店開業

うどんのたも屋 10月には台湾進出

讃岐うどん店チェーンを運営する、たも屋(高松市)はインドネシアの1号店を8月下旬に開設した。同社の店舗では最大となる150席を用意し、現地の買い物客やビジネスマン、観光客らを取り込む狙い。

北ジャカルタに立地する大型ショッピングモトル「エンポリウム プリットモール」に出店した。営業時間は午前10時～午後10時で、定休日

はない。海外のたも屋ではシンガポールの3店舗に続く4店舗目となる。

現地の店舗には国内から香川県の伊吹いりこを使ったタシを輸送する。

麺に使う小麦粉は現地調達したものを使い、同社が提供するコシの強い讃岐うどんの麺の水準に仕上げたという。うどんに加えて季節ごとに内容が替わる天ぷらも用意し、

セルフサービス方式で提供する。

たも屋は海外での出店を強化している。現地のパートナー企業とフランチャイズ契約を結び、10月には台湾での1号店を開設する計画。台湾ではパートナー企業との連携を強化し2016年3月までに10店舗程度の展開を予定する。